

学部長より



卒業生の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。システム工学部は早いもので11年目に入り、2000名以上の卒業生を送り出しました。これからも、社会の一翼を担っていくことができる優秀な人材を社会に輩出し、ともに貢献してまいりたいと思います。

昨年10月21日に創立10周年記念式典を開催しました。そのときに配布しました記念誌の写真も併せてお届けいたします。

末筆ながら、皆さまのますますのご活躍をお祈りいたします。

システム工学部長 平田 健正

学科長より

皆さん、元気でご活躍のことと思います。学科では今年も無事、新入生を迎え入れることができました。元気のいい、希望に満ちた若者達です。

彼らが夢を育てると共に、社会に貢献出来る能力を修得できるように、一層の教育指導にあたるつもりです。皆さまのご協力、ご支援を宜しくお願いします。

環境システム学科長 濱田 學昭



新入生オリエンテーション
(住友金属工業和歌山製鉄所見学)

● 学生表彰

土木学会関西支部 優秀発表賞	高田 美沙、芦塚 徹也
アジア太平洋トレードセンター株式会社 第11回 ATC 関西学生卒業作品展 奨励賞	新山 奈緒
(財)省エネルギーセンター 第9回省エネルギー実践コンクール 奨励賞	吉田 研一
日本認知症ケア学会 平成17年度石崎賞	品川 靖幸
土木学会 平成17年度土木学会関西支部年次学術講演会 優秀発表賞	坂本 辰徳
土木学会 関西支部 平成16年度土木学会 関西支部年次学術講演会 優秀発表賞	福波 大典、高見 美由貴
土木学会 環境システム委員会 第31回環境システム研究論文発表会 優秀ポスター賞	長谷川 渚、川緑 将利
土木学会 関西支部 平成16年度土木学会関西支部年次学術講演会 優秀発表賞	岩見 千津子
土木学会 水工学委員会 水工学論文集第47巻 水工学論文奨励賞	角尾 隆



学部長表彰者のネームプレートを掲示
システム工学部A棟ロビーにて

● 主な就職先 (2005年度学部卒業生、大学院修了生)

(株)セガ	(株)ウッドワン	太平電業(株)	トラスコ中山(株)	海南市役所
(株)タクマ	(株)CSK	高松建設(株)	ナイス(株)	堺市役所
松下電工(株)	旭化成ホームズ(株)	(株)長谷工コーポレーション	(株)泉州銀行	瀬戸市役所
第一化学薬品(株)	安藤建設(株)	パナホーム(株)	(株)ニトリ	岡谷市役所
トステム(株)	住友林業(株)	(株)アスクプランニングセンター	(株)阪急百貨店	和歌山市消防局
ザ・バック(株)	積水ハウス(株)	大和工商リース(株)	和歌山市役所	兵庫県警

など

● 風景



卒論発表会 (3/2)



宇民先生退職 (2/23 最終講義)



ウィスコンシン大との交流 (5/26)
システム工学部B棟5階ラウンジにて

● スタッフの異動 (現在のスタッフについては <http://www.sys.wakayama-u.ac.jp/es/staff/staff.html> をご覧ください)

2004年4月 林田大作講師 着任	2005年4月 石塚正秀助手 香川大学へ転出	2006年4月 谷口正伸助手 着任
2004年4月 田中千歳助手 美作大学へ転出	2005年4月 宮川智子助教授 着任	
2005年3月 神吉紀世子助教授 京都大学へ転出	2006年3月 宇民正教授 定年退職	

TOPICS!

1 総合研究棟



全学共用の公募型教育研究プロジェクトや大学院システム工学研究科のスペースとして利用されています。

奥に見えるのはシステム工学部A棟です。

2 10周年記念植樹



昨年10月にシステム工学部創設10周年を記念して、クロガネモチという赤い実のなる木を植樹し、あわせて記念碑を設置しました。

3 和大 Logo Goods



和大オリジナルグッズが続々登場。飴のほかに、タンブラー、大皿、パンケースなど、現在15品目あります。

和大生協ウェブサイトから購入できます。

4 和大教員メッセ



「和大教員メッセ」とは、本学の全教員が有する知的資源(教育・研究成果)を公開し、教員の活動を熟知して頂くという企画です。

6月29日に和歌山ビッグホールで開催しました。

2006年の出来事・行事

2月23日 宇民 正教授 最終講義	6月29日 教員メッセ開催
3月 2日 卒論発表会	8月 6日 オープンキャンパス
3月24日 卒業式	8月17日・18日 大学院入試
3月31日 宇民 正教授退職	10月13日 総合消防訓練
4月 5日 入学式	11月11日・12日 和の大祭
5月24日 新入生オリエンテーション(住友金属工業和歌山製鉄所)	
5月26日 国際交流協定校ウィスコンシン大 Matthew Jarosz 氏 他14名来学 交流、JAPAN ツアー担当	

2006年11月~2007年8月 中尾史郎助手 豪州フリンダース大学 海外出張

● ご案内

これからも、今回のようなリーフレットを皆さまに送付し、和歌山大学システム工学部と環境システム学科の情報を発信していきたいと考えています。それに際して、今後の送付先の確認の記入用紙と返信用の封筒を同封させていただきます。添付のアンケートとともにご返信いただきたく存じます。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

連絡先

〒640-8510 和歌山県和歌山市栄谷930 和歌山大学システム工学部環境システム学科事務室
TEL 073-457-8334 E-MAIL : wukankyo@sys.wakayama-u.ac.jp

編集
システム工学部
技術室

研究室の近況

現在の各研究室の活動状況です。

研究グループの再編があり、『環境テクノロジー』、『環境デザイン』、『環境モデリング』の3つの教育・研究グループになりました。教員、学生は社会貢献活動として多種多様な分野で活躍しています。

これからは、地域、企業、他大学等の外部とネットワークを組み、学科に厚みをつくるのが重要だと考えています。

井伊・谷口研究室

水工学論文集第50巻 JHHE 優秀論文推薦 (2006年4月14日)

現在、河川から地下水にかけての水循環をテーマに研究をしています。フィールドは北は北海道釧路湿原から南は鹿児島県屋久島までを対象としています。釧路湿原と屋久島は水素酸素同位体比を用いて水の起源と流れを解明しています。今年の9月にはオーストラリアにて国際会議に5編(紀ノ川、屋久島、オーストラリア、香川満濃、猪苗代湖)を発表します。都市河川では大和川、横尾川などの水質問題にも取り組んでいます。

調査予定	
7/3	鹿児島県沖永良部
7/14	屋久島調査 釧路湿原調査

日下研究室

しくみのデザイン・プロセスデザイン

日下研究室では、身近な環境から地球環境までの環境を改善・保全・創造していくために各種の計画を策定し、またそれら計画を実施していくための多様な活動をしています。

それら計画が実現できるようにするために仕組みのデザイン(制度設計)をしています。現在は和歌浦の歴史的景観の保全、また和歌山城を中心とした地域のアメニティを向上していくためのしきみづくりに取り組んでいます。また和歌山県山間部を主対象として、地域再生のための人づくり、組織づくり、ルールづくりをしています。

足立研究室

人が人らしい暮らしをおくるために

現在、高齢者施設での生活の質向上を目指し、環境と行動特性を反映させた計画をテーマに研究をしています。全国アンケート調査(5200施設)から得られた施設データを基に、ハード改善はもとより、介護職員のケア意識改善のソフト面からもアプローチしています。これらの成果として今年開かれる日本建築学会、日本認知症ケア学会、国際ユニバーサルデザイン会議などで発表予定です。また施設だけでなく、「宅老所と地域との関係性、交通バリアフリー、高齢者の音環境」などの研究にも取り組んでいます。

活動予定	
7/5	高槻ミスブル記念ホーム調査
7/18	大阪府社会福祉ゼミナール
7/21	三重県桑名の宿ひかりの里見学
7/22	大阪府フィオーレ南海見学

山田研究室

愛知万博、バイオラングの気象緩和効果の測定

昨年開催された愛知万博の会場には、バイオラングと呼ばれる巨大緑化壁が展示されていました。バイオラング壁面には、国土交通省により多数の温度センサーが設置されており、博覧会開催当初から終了時まで、継続的に温度データの収集が行われました。当研究室もこの調査に参加して、バイオラング内外の気温平面分布の測定、バイオラング内の気温鉛直分布の測定、暑熱強度の測定、サーモグラフ画像の撮影などを行いました。

これほど巨大な緑化壁面の設置は世界初の試みであり、貴重なデータを得ることができました。

本多・平田研究室

名勝・和歌の浦の地域デザイン・景観デザイン



当研究室ではこれまで、漁村・雑賀崎地区の生活環境研究、片男波公園/和歌浦干潟の環境保全、名勝・和歌浦の景観構造の分析を行ってきました。本年度からはさらに、IT技術とフィールドワークによって地域住民が持っている「地域の智慧(ローカルウィズダム)」を集める試み、パブリック・アートとして言葉から環境を感じ、イメージし、時間を越えた景観を想像するワークショップを行ないます。さらに、専門家・学生・住民を巻き込んだ地域のランドデザインを短期間に描いてみるシャレット・ワークショップを行ないます。失われてしまった美しい景観を、もう一度紡ぎだすことを目的に、環境を感じ、楽しみながら研究を行っています。

活動予定	
7/23	景観ワークショップ 「布引の松」&パブリックアート 「言葉のある風景・和歌の浦」
8月末	共同研究報告会 「和歌の浦のランドデザイン」 (共同:きのくに信用金庫)
9月中旬	景観ワークショップ

濱田研究室

都市の再生、まちづくり等についての調査、研究



和歌山市の再生：中心部の魅力づくり

東京、大阪等の大都市中心部では、都心タワーマンション、商業ビルの集積等により、人口等の都心回帰が顕著です。他方、大都市以外の都市中心部では、高度都市機能(業務核、高次商業核等)の都心回帰により都市機能が失われ、中心部に活力・魅力がなくなり、都市の求心力が急速に消滅しかかっています。

けれども、居住機能はそれ程失われていません。さらに、中心部は都市発展の原点であり、都市の個性と文化で得がたいストックといえる「街の資源」があります。

これらを活かして、中心部での居住の魅力高め、商業、文化等の活動を活性化させ、中心部の魅力づくりを推進し、都市の再生につなげることが非常に重要であり、火急の課題だといえます。同時に、中心部の魅力づくりでは、新しい価値観(環境エネルギー問題への取り組み、公共交通の拡大、街の管理等)の実現も求められています。

学生活動

省エネ! 脱クーラー!

夏の製図室を快適に



夜間の換気の際、虫の室内浸入防止のために、アミ戸を手作りしました。



現在の製図室

夏場、出力が大きな製図室のクーラーの使用が電気代を大きく左右します。

製図室のクーラーをフル出力すれば涼しくなるのですが、設定温度を28℃に中央管理(大学全体の省エネのため)されています。それに加えて、室内の人数が多く、人からの熱気で室温は30℃を越えます。暑いということでエアコンはつけばなしにしてしまおう。しかし涼しくならない。という悪循環がありました。

そのようななか、昨年、省エネを考える学生グループから、学科に対して省エネをしつつ製図室を快適にする提案が出されました。『製図室の快適さをエアコンに求めるのではなく、空気循環により達成する』というものでした。

このことがキッカケで、今では学科の教官室や研究室にも扇風機が設置されるようになり、脱クーラー化しつつあります。学科内にムーブメントを起こし、学科全体として省エネに取り組むことにつながりました。

環境を考える環境システム学科の学生らしい活動の一つです。

●実施事項

- ・製図室のエアコンをつけない
- ・扇風機の設置
- ・網戸の設置

●メンバー

- ・吉田 研一
- ・榎本 純子
- ・東岸 芳浩
- ・今井 多美恵
- ・上田 寛彬
- ・遠藤 裕志
- ・大山 侑子
- ・北浦 利依
- ・小西 至一
- ・坂口 裕子
- ・玉村 直之
- ・林 美里
- ・藤田 みどり
- ・寺南 智弘

現在、彼らは環境システム学科をより快適にすることを検討するとともに、「環境を考える」マインドを下級生に伝える活動にも取り組んでいます。